

当クリニックで検査可能（自費診療）な新型コロナウイルス各種検査について

2021.9.13 改訂

当クリニックでは、発熱外来における新型コロナウイルス感染診断の為、保険診療での抗原検査と PCR 検査はこれまで行ってきておりましたが、無症状者への希望に伴う自費診療での検査に関しては、厚生労働省からの推奨に伴い PCR 検査のみ行ってきました。しかし、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大と長期化に伴い、無症状者への感染スクリーニングに対し PCR 検査より安価で迅速に診断のつく抗原検査も広く行われるようになってきたため、当クリニックでも自費診療での新型コロナウイルス抗原検査を行えるようにいたしました。また、抗体検査に関しても今までの定性試験(抗体があるかないかのみ)の検査に加えて、ワクチン接種後の抗体量の検査やコロナ感染後の抗体量の検査も行えるようになりました。

自費診療での PCR・抗原検査は無症状の方が対象となり、有症状の場合は発熱外来での保険診療の対応になります。各検査の自費診療での費用や検査意義について下記に記しますのでご参考にしてください、希望する場合は内科診療時間で予約をしていただくようよろしくお願いいたします。

PCR 検査

費用：25,000 円

検査方法：唾液検体のみ → 検査会社（BML）への委託検査になります

検査結果判明時間：1-2 日

*唾液検体は有症状者に対しては、発症後 9 日以内の適応となっておりますが、無症状者に対しては鼻咽頭ぬぐい液と高い一致率を確認できており、厚生労働省も唾液を用いた検査で活用可能と判断しているため、負担の少ない唾液の検査のみ行っております。

感度（感染している人が陽性とする確率）70-80%

特異度（感染していない人が陰性とする確率）99%

抗原検査

費用： 6,000 円

検査キット：COVID-19 Antigen ラピッドテスト(Abbott 社)

検査方法：鼻腔ぬぐい液による検査。御自分で両鼻腔に検査用の綿棒を挿入して検体摂取して頂きます。

検査結果判明時間：15-30 分

*ウイルス量が多い場合には PCR 検査と高い一致率を示すことが確認されていますが、無症状の場合は陽性でも感染性のない時期なども含まれることから、PCR との一致率にばらつきがあるといわれており、感度 50-90%といわれていますが、概ね感度 60-70%となります。特異度は PCR 検査とほぼ同様になります。

検査の意義：

どちらも現在の感染症状を反映することができる検査ですが、感度は PCR で 70-80%、抗原検査で 60-70%、特異度 99%といわれていますので、感染していても 20-40%の人は見過ごされる可能性があり、逆に感染していても 1%の人は誤って陽性という判断をされることとなります。検査結果に対しては下記のように判断することになります。

〈陽性の場合〉

PCR 検査の場合は新型コロナウイルス感染確定、抗原検査の場合は公費により PCR 検査を追加して行うこととなります。陽性の場合保健所に連絡しその後の判断を仰ぐこととなります。検査をした方には保健所から直接連絡がいく可能性もあり、氏名や連絡先についてはこちらからお伝えさせていただくこととなります。

〈陰性の場合〉

現在新型コロナウイルスに感染している可能性はかなり低いと考えられます。しかし陽性の場合でも約3割は見落とされている可能性がありますので、引き続き 3密を避けた新しい生活様式の継続をお願いいたします。

* 海外渡航や大会参加などのため、陰性であることの証明書が必要な場合は別途診断書料が発生します。和文 3,000 円（抗原検査は 2,000 円）、英文 5,000 円

抗体検査

定性検査(抗体があるかないかのみの検査)と定量検査(抗体の量を調べる)があり、定量検査に関しては感染後の抗体量を調べる検査と、ワクチン後の抗体量を調べる検査が異なりますので、受診時に希望する検査をお伝えください。

費用： いずれも 8,000 円

①定性検査

検査キット：One Step Nvel Coronavirus IgM/IgG Antibody Test Kit(Artron, Canada)

検査方法：指先に針を刺し、微量な血液検体で検査をします。

検査結果判明時間：15-30 分

* 定性検査は 2021 年 9 月末で終了します。

②定量検査：ワクチン接種後の抗体量

スパイク蛋白への IgG の抗体量を調べます

検査方法：血液検査 → 検査会社(SRL)への委託検査になります

検査結果判明時間：2-3 日

③定量検査：コロナ感染後の抗体量

ヌクレオカプシドへの IgG と IgM の抗体量を調べます

検査方法：血液検査 → 検査会社(SRL)への委託検査になります

検査結果判明時間：2-3 日

検査の意義：人間の身体はウイルスに感染すると、そのウイルスに対して特異的な IgM 抗体と IgG 抗体を作りますが、新型コロナウイルスの抗体は発症してから約 1-2 週間後頃から作られます。IgM 抗体は発症後約 5-6 週間でなくなっていきます。IgG 抗体はその後も数か月から数年残ります（どのくらいの期間残っているのかについてはまだわかっていません）。ワクチンを接種した場合は、2 回目のワクチン接種後 2 週間以上経過すれば、この IgG 抗体が作られていることが想定されています。つまり抗体検査はワクチン接種後に（どのくらいの）抗体が作られているかどうか、または新型コロナウイルス感染後に（どのくらいの）抗体が残っているかどうかを調べていることとなります。

以上